

100年企業の誇りと伝統を継承し「成功は挑戦の先にある」という思いを持って、2024年度にスタートした3力年の中期経営計画の目標達成を目指す。長い歴史で培った施工実績や技術力を生かし、強みとする景観舗装に加え橋梁補修などの関連工事受注も視野に入れる。製造・販売部門では中温化合材の全国展開にも意欲を示す。

◇

——就任の抱負を。

「23年12月に創業100周年を迎えた。多くの先輩方が築いてきた歴史や良い部分を引き継ぎ、社員全員で失敗を恐れず新しいことに挑戦をしていきたい。次の100年に向けてどのように導いていくか、いろいろと試行錯誤しているところだ」

——経営課題は。

「23年度は過去最高額となる高速道路会社関連の工事を受注したが、前中期経営計画（21～23年度）で掲げていた売上高や営業利益などの目標

環境景観事業の受注拡大

佐藤渡辺

かまた しゅうじ
鎌田 修治氏



を達成できなかった。利益を追求するため生産性を向上していききたい。そのためには社員のエンゲージメントを高め、定着率を上げる必要がある。今後は月1回、挑戦・成長機会・自己実現・成長に関する設問への回答をサーベイ

し、働きがいの向上に取り組みたい。

——注力する分野は。

「工事部門では、当社が対応し得る工事は積極的に応札していききたいと考えている。その上で強みとする景観舗装に一段と力を入れていく。例えば透水性に優れたポーラスコンクリート舗装『パーミアコン』は付加価値を付けて顧客に提案していく。超高压水噴射により効率的にコンクリートを除去する超高压ウォータージェットシステム『ハイドロミリング』も積極的に提案する」

「仕事量が多くても4週8休を確実に取得できるように各営業所で指導している。スマートフォンやタブレットで撮影するだけで舗装の出来形測定ができるようなシステムの導入も考えている。社長就任後に新卒採用ホームページ（HP）をリニューアルし、女性社員や若手社員の座談会、先輩社員の活躍する姿などの若い人が興味を持てるコンテンツを用意した。今後は中途採用も積極的に進めていきたい」。

新社長

1986年日本大学工学部土木工学科卒、渡辺組（現佐藤渡辺）入社。2017年工事本部工務部長、20年執行役員施設工事支店長、24年4月常務執行役員経営企画室長などを経て現職。尊敬する松下幸之助の「熱意なき人は絵に描いた餅の如し」という思いを大切にしている。趣味はゴルフ。青森県出身、60歳。

（6月26日就任）